



令和5年度入学式式辞

うらかな春の訪れとともに、新年度が幕を開け、本日、令和5年度入学式を開催する運びとなりました。まずもって、岐南町長 小島 英雄 様、羽島郡二町教育委員会 教育長 野原 弘康 様、本校PTA 会長 森下 智代巳 様、岐南町内三小学校の校長先生にご臨席を賜り、厚くお礼申し上げます。また、保護者の皆様。お子様のご入学、誠におめでとうございます。

さて、新入生、233名の皆さん、入学おめでとうございます。きっと、夢と希望を胸に今日の入学式を迎えたのではないのでしょうか。今日からみなさんは岐南中学校の生徒となりました。在校生、教職員一同、心から歓迎します。皆さんは各小学校で最高学年として素晴らしい成果を残してきました。

東小では、「最高学年がより質の高い活動で、全校をリードする」という伝統を、6年生を送る会から名称が変わった、伝統を引き継ぎ、感謝を伝える会で、後輩たちに伝えて小学校を巣立ちました。西小では、あじさい公園や中庭の花壇などの世話を一日も欠かさずに行い、今までで、最も美しい花壇にすることができました。北小では、二月の卒業式に向けての巣立ち活動で、コロナで行っていなかった合唱に3年ぶりに取り組み、聞く人の心を打つ歌を響かせて卒業しました。そんな皆さんですから、中学生として、素晴らしい活動を行ってくれることを大いに期待しています。

そして、中学校と小学校の最大の違いは、中学校は、自立した社会人になるための学びの場ということです。だからこそ、この3年間は義務教育最後のとても大切な期間となります。そして、その3年間で、最も大切にしてほしいのは、本校の教育目標である『自分や仲間の夢や希望の実現のために自ら動く』です。この「自ら動く」ために大切なのは、その主役が生徒であり、中心となるのは生徒会ということです。半日入学で、皆さんの前で堂々と発表する生徒会役員の皆さんの姿を覚えていますか。みなさんも、きっと、あんな先輩のように岐南中で活躍してくれると信じています。

最後になりましたが、保護者の皆様にお願いです。これから3年間、全教職員で、全力でお子さまを育てて参りたいと思っております。そのためにも学校・家庭・地域の連携を図りながら、充実した学校生活になるよう努力してまいりたいと思っておりますので、今後とも本校の教育活動に対し、ご理解、ご支援・ご協力をお願い申し上げます、私の式辞といたします。

令和5年4月7日

岐南町立岐南中学校長 伊藤 直輝